

科目名	農産物流通論	教員名	やざま しゆんじ 矢崎 俊治	開講 コース	作物生産 花 園 芸	2年次	後 期
<p>・目的と内容</p> <p>今日、わが国の食料・農産物流通への規制緩和がより一層進行し、生産から消費にいたる流通再編が加速している。こうした現状をふまえ、本講義では流通再編の特質を主要な農産物に即して、その現状と課題を中心に具体的に明らかにするように努める。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数：2 単位、授業週数：15 回 ]</p> <p>[ 後期 ]</p> <p>1 . 農産物流通の新展開 ( 1 ) 農産物流通の独自性</p> <p>2 . ( 2 ) 農協共販の発展と産地マーケティング</p> <p>3 . ( 3 ) 卸売市場の発展とその再編</p> <p>4 . ( 4 ) 食品スーパーの展開と農産物調達</p> <p>5 . ( 5 ) 外食産業の進展と流通再編</p> <p>6 . ( 6 ) 地産地消の展開</p> <p>7 . 米の流通 ( 1 ) 特徴</p> <p>8 . ( 2 ) 現状</p> <p>9 . ( 3 ) 課題</p> <p>10 . 青果物の流通 ( 1 ) 特徴</p> <p>11 . ( 2 ) 現状</p> <p>12 . ( 3 ) 課題</p> <p>13 . 畜産物の流通 ( 1 ) 特徴</p> <p>14 . ( 2 ) 現状</p> <p>15 . ( 3 ) 課題</p>							
<p>・講義の進め方</p> <p>上記の内容について、毎時間、講義形式で行う。特に講義毎に論点を明確にし、学生諸君との質疑応答を重視して進める。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>本講義では授業の出席確認を厳正に行い、さらに、必要に応じて、小試験、レポート提出を行い、定期試験によって総合的に評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>本講義では受講生が積極的な姿勢で授業に出席し、聴講することを望む。特に、受講生一人一人が本講義を通して「なにが、なぜ、どのようにして」というものの見方、考え方を深く学んでもらいたいからである。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>参考書：『食料・農産物の流通と市場』滝沢昭義ら編著（筑波書房）2003年</p> <p>参考書：『食料・農産物流通論』藤島廣二ら編著（筑波書房）2009年</p>							